

看護しずおか[🌿]

特集1

看護職として働き始めて P4・5

特集2 研修報告

「ハラスメント対応について学ぶ」 P6・7

先人に聞く 看護の道しるべ

認知症予防に捧げる(第1回) P3

シリーズ

人の一生を支える看護職 P8

令和元年度

VOL.3



長寿をお祝い
お誕生日おめでとう!

会員数 21,380名 (令和元年 9月1日 現在)

●保健師…519名 ●看護師…19,304名
●助産師…806名 ●准看護師…751名



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<http://www.shizuoka-na.jp>

【静岡県看護協会】
お気軽にご利用下さい。



テーマ 「看護チームにおける看護職の業務のあり方を見直そう」



会 場 静岡県看護協会 第1研修室

講 師 日本看護協会 看護開発部長 太田真里子 氏

この研修会は役員・委員が看護協会の運営を行うにあたり、静岡県看護協会の本年度の重点事業に係る情報提供を目的の一つとして毎年開催しています。今回は132人が参加しました。本年度は、日本看護協会より2019年2月に公表された「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」について講演会を開催しました。タスクシフティングが図られる中、参加者からは看護チームの一員として活躍が望まれる看護補助者の人材不足が課題になっています。看護チームにおいて看護師・准看護師・看護補助者が法令等の規定を遵守し、安全で効果的な看護を提供するため知っておくべき業務のあり方の基本的な考え方や各施設における体制整備などについて改めて学ぶ機会となりました。

令和元年度 第2回定時理事会報告

令和元年7月17日(水)開催

■ 会 場 静岡県看護協会 第1会議室

出席理事:21名、欠席理事:1名 定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認

出席監事:2名、欠席監事:1名

1.協議事項(すべての事項について承認される)

(1) 令和元年7月までの事業報告について
総務部・教育研修部・事業部・ナースセンター

(2) 令和2年度定時総会の日時及び場所について
令和2年6月30日(火) グランシップ中ホール

2.報告事項

(1) 令和元年度定時総会提案及び対応について

(2) 会員入会の申請状況

(3) 公益社団法人静岡県看護協会認定看護管理者教育課程細則の一部改正について

(4) その他



男性保健師さんすごいですね。様々な人たちのつながりや活躍が記事から伝わり、おもしろかったです

人の一生を支える看護師を読んで・・・「食べることは生きること」どんな患者さんでも、食べたい思いがあります。8年間食べられたというところに感動しました

しまだ看護つなぎ隊についての取り組みは知っていましたが、県内全体で看看連携についての取り組みが、こんなに進んでいるとは、驚きました

心に残る看取りエピソードは以前から興味があり、私の職場でもあった看取りエピソードを次回は応募したいと思います

10月20日は
「県民福祉の日」

静岡県では、1月1日から数えて294日目にあたる
10月20日を「県民福祉の日」として制定しています。

第1回

先人に聞く 看護の道しるべ 認知症予防に捧げる



今回は、喜寿を過ぎても「スリーA 予防デイサービス 折り梅」の所長を務める傍ら、認知症予防の講演会に全国を飛び回るバイタリティーあふれる増田末知子さんにお話を伺いました。

(インタビュー 平成31年1月22日)

プロフィール

増田 末知子 (昭和15年生)

静岡市出身。静岡県立城北高校卒業。三菱電機静岡製作所を経て、国際聖母女子短期大学卒業し、静岡済生会病院に勤務。静岡県立掛川東高等学校衛生看護科新設に従事し、初代看護学科長となる。その後養心荘(現こころの医療センター)に勤務。請われて、新設される町立浜岡総合病院の総看護婦長として赴任し、病院の開設に関わった。平成4年1月から岡部町の民宿で認知症の介護予防の合宿訓練「高齢者リフレッシュセンター・スリーA」を開設。平成17年から静岡市内に拠点を移し、認知症対応型通所施設「スリーA 予防デイサービス 折り梅」を開設し、施設長として活躍する傍ら、全国から要請がある認知症予防講演活動に忙しい毎日を送っている。

平成9年に静岡新聞社賞 看護婦・助産婦賞受賞。平成25年に第3回日本認知症予防学会学術集会「浦上賞」受賞。現在、静岡市認知症予防企画会議作業部会委員に就任。



看護師になりたくて

静岡県立城北高校の卒業を控え、国立看護学校を受験した。その際の健康診断で胸部レントゲン検査の結果、肺結核を疑われ、高校卒業直前に療養生活に入った。肺結核は思ったより軽度で自宅療養をしていた。主治医からも進学の手続きができた。しかし、途中からでは入学できないため、三菱電機静岡製作所に経理担当として就職した。経理の仕事は単調で「私には合っていない」と思い退職。大学進学をめざした。

国際聖母女子短期大学の先生から「あなたは、勉強はできないけど、やる気があるから合格です」と言われ、入学した。静かなカソリックの学校だったが、学園祭をやろう! など新しいことに取り組んだ。卒業するとき『あなたは特別な働きをしました』と特別賞を貰った思い出がある。

新しい仕事に呼ばれて

卒業後は済生会病院に就職し、外科病棟に勤務。大学を卒業しているので教育を担当するように言われ、教育係だった。就職して1年9ヶ月経った時、保健科と養護教諭の教員免許を持っていたので、静岡県から「掛川東高等学校に衛生看護科をつくるので、来て欲しい」と言われた。看護婦不足の時代で、衛生看護科の新設に関わり、初代衛生看護学科長になった。普通科の生徒を巻き込んで戴帽式をやるなど、楽しかった思い出ばかりです。現在、衛生看護科は閉鎖になりました。

特集1

看護職として働き始めて

2019年度新人保健師・助産師・看護師にこれからの抱負を語ってもらいました。



聖隷健康診断センター
奥山 奈緒美

私が入職して一番印象に残っている出来事は、問診で利用者様の生活状況や関心事を伺い、生活の中で行えそうな運動を提案したところ、「出来そうなので仕事の合間にやってみます」という前向きな発言があったことです。今後も利用者様の価値観や生活を大切にした個別性のある保健指導を行っていききたいです。



聖隷沼津病院
望月 千寛

安心・安全なお産ができるよう、また、バースプランに沿った支援ができるよう頑張っています。誕生の瞬間に立ち会う時は、助産師としての自覚や責任を感じ、喜びと共に緊張し背筋が伸びます。まだ出来ないことは沢山ありますが、失敗も成功の糧としてこれからも一日一日を大切に、自分磨きをしていきたいと思っています。



静岡済生会総合病院
佐々木 彩乃

「あなたと同じ名前をこの子につけてもいいですか」褥婦さんからの言葉は、この先助産師を続けていく中で忘れることのできない喜びのひとつです。責任の重さに押し潰されそうになる毎日ですが「この助産師に出会って良かった」そう思ってもらえるよう、これからもお母さんと赤ちゃんの一番近くで寄り添っていききたいです。



伊東市民病院
勝又 海斗

4月に整形病棟に就職し実感したのは、患者様を観察しても異常を経験しておらず臨床と机上での違いを感じたことです。今までの学びが、本当の意味で理解できていなかったと痛感させられました。今後多くの経験を積み、患者様の命を預らせて頂いていることを肝に銘じ、適切な看護ができるよう日々を大切にしたいです。



富士市立中央病院
佐藤 圭樹

私は学生の時から憧れていたICUに配属になりました。ICUでは覚えることが多く、勉強の毎日ですが、優しく頼りになる先輩方のおかげで少しずつですが出来ることが増えてきました。まだまだ、技術や知識は未熟ですが一日でも早く先輩方に追いつき、ICUで頼れる存在になれるよう日々努力して成長していききたいと思います。



沼津中央病院
森田 一平

私は精神科の急性期病棟に勤務しています。同じ疾患であっても患者様の症状も回復過程や発症に至った経緯も一人ひとり異なり、個性を理解した関わりが必要であると日々感じています。まだまだ未熟ではありますが、患者様の回復に貢献できる看護が行えるよう精神看護への理解を深めていきたいです。



岡村記念病院
吉川 朋花

今の私に出来る事は言葉掛けと傾聴だと思い大切にしていたので、患者さんや御家族に「今日も元気をくれてありがとう」と言ってもらえた事が嬉しかったです。励まし導いてくれる先輩に支えられ少しずつ出来ることも増えて来ました。これからも言葉を大切に、看護を提供できるように頑張ります。



焼津市立総合病院
大石 亮介

印象に残っている出来事は、患者様に「元気に来てもらえるだけで、気分が明るくなるよ。頑張ってるね」と言っていたことです。自分が患者様を励まし、支援する立場なのに、まだ何もできない私にとって大きな励みとなりました。これからも笑顔を忘れず、明るく接することを心がけながら患者様の力になれるよう日々研鑽していききたいと思います。



静岡県立こども病院
高田 純太郎

大変なことは多いですが看護師になると決めた当時の想いを大切に、先輩と同期に支えられながら少しずつ前進しています。子供の明るい笑顔と成長をご家族と一緒に見ることができるのは、小児看護の一番の魅力だと感じます。子供達に待っているキラキラした未来と一人一人の夢へ送り出してあげられる看護師になりたいです。



静岡市立静岡病院
鈴木 悠太

私は、集中治療室に配属になりました。知識不足もあり緊張の中で勤務しています。そんな私の姿を見て患者さんから「頑張って」「ありがとう」と言葉をいただき、力不足な私でも患者さんのために支援できていることが嬉しいです。患者さんが安楽だと感じるができるようにケアをし、不安やストレスの緩和に努めたいです。



藤枝市立総合病院
坂下 和也

患者さまが退院される際に「お世話になりました」と言っていただいた時は嬉しかったです。その時私は、喜びと同時に新人ではなくプロフェッショナルであるという意識を持たなければいけないと感じました。これからも患者さまが安心して入院生活を送られるように日々精進していきます。



菊川市立総合病院
星野 真実

私が印象に残っているのは認知症状のある患者さんとの関わりです。はじめは挨拶も返してもらえませんでした。しかし先輩に助言をいただき、患者さんに関わるうちに「お話を聞いてくれてありがとうね」と言って下さいました。その時、未熟な私でも患者さんと信頼関係を築くことができ、看護師になって良かったと感じました。



浜松医科大学医学部附属病院
楠野 貴哉

私が印象に残っていることは、術直後に関わった患者さんの「あの時はありがとう。緊張は伝わったけど、私の為に一生懸命接してくれたから、嬉しかった」という言葉です。自分の未熟さを痛感する毎日ですが、先輩は親身に教えて下さいます。これからも、学ぶ姿勢を忘れずに、日々成長していきたいと思います。



市立湖西病院
二橋 愛

私は看護師として働き始めて、毎日さまざまな患者さんに関わることができる喜びと、ずっと夢であった看護師として働くことができ毎日充実しています。患者さんから名前を覚えてもらったときは、自分も病院の一員になれたと実感することができて嬉しいです。これから辛いことがあっても毎日笑顔を保ちたいと思います。



浜松医療センター
鈴木 萌子

私は、4月から小児病棟に配属となりました。看護師として働き始めてから、覚えることも多く、思うようにいかないことは多く大変な毎日です。しかし、元氣になっていく子どもたちの笑顔が見れたとき、子どもやそのご家族に「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時は、日々の苦勞を忘れるほどの喜びや達成感を感じます。これからも、患者さんに寄り添える看護をしていきたいです。



中東遠総合医療センター
村上 寛太

私が印象に残っているのは患者様から「ありがとう。男の看護師さん、頼りになるね」と言ってもらえたことです。感謝の言葉を頂けたり、男性看護師が少ない中で頼って頂けたりすることがとても嬉しく思いました。まだまだ未熟ではありますが、優しい手を差し伸べられる看護を忘れずに看護師として成長していきたいです。

研修報告「ハラスメント対応について学ぶ」

昨今、マスコミ等でも話題に上がることが多い、ハラスメントについての研修会には、70人の参加を得て、看護の現場での事例をあげた講義は、学びの多いものとなりました。

2017年にアメリカで起こった、反セクハラ運動(#MeToo:私も被害者)以降、日本でも被害者が声を上げるようになってきました。職場で発生するハラスメントには、セクハラ、パワハラ、マタハラ等様々で、くしくも研修前日の6月21日は、国際労働連盟(ILO)で、職場の暴力・ハラスメントをなくす条約の採択がされました。

職場から、ハラスメントをなくすための基本的な知識と管理者の役割などについて、わかりやすい講義と共に、三木先生たちが作成した暴力やハラスメント対策に関するチラシやチェック票などを頂き、職場に戻ってすぐに活用できるものとなりました。



講師：関西医科大学
看護学部・看護学研究科
三木 明子 氏

健康いきいき職場づくり

「健康いきいき職場づくり」は、従来の職場のメンタルヘルス対策を広げ、組織も個人も元気になることを目指し「働く人の心身の健康」「働く人のいきいき」そして「職場のいきいき」の3点を目標にし、働く個人と組織の双方に利益をもたらそうという考え方で。そのためには、「ほめてもらえる職場」「失敗を認める職場」という環境づくりが大切です。先輩や上司が良い指導をしたと思っていても、自分が満たされたと思えないと聞く耳をもたない。

だから、「ほめてもらえる職場づくり」が必要になっているのです。

現代は、発達障害的特性のある人と一緒に働く時代になっています。「これぐらい言わなくてもわかるだろう」ということがわからない、また複数のことが同時にできない人も身近に増えてきます。これらの人々に、早く診断をつけるのではなく、障害特性を知って支援することが大切です。厳しい言葉には反

応するので①その場で②順序だてて③具体的に④簡潔にやさしい言葉で社会のルールを伝えることが大切です。

パワハラとは

同じ職場で働く者に対し、職務上の地位や人間関係などの優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的な苦痛を与える又は職場環境を悪化させる次のような行為です。

- ① 身体的な攻撃
- ② 精神的な攻撃
- ③ 人間関係からの切り離し
- ④ 過大な要求(業務上、不要なことや、遂行不可能なことの強制など)
- ⑤ 過少な欲求(仕事を与えないなど)
- ⑥ 個の侵害

パワハラが起きやすい職場

看護職場で、パワハラ相談を受けることが多いのは、異動が少ない職場、訪問看護の現場です。また、近年は男女雇用機会均等法および改正育児・介護休業法の施行後は、男性からの相談も多くなっています。

管理者に求められることは、メンタルヘルス不調の兆候が見られる人には、心療内科や精神科の受診を促し、専門の相談機関へつなぎ、加害者から避難させる、離す等の対応を早急に対処することが大事です。

参加者の職場に、セクハラ以外のパワハラ等の防止規定があるか否かとの問いかけには、手を上げた人は少なかった。職場のハラスメント防止規定には、具体的な行為や対処方針も検討され、記載されることが大切です。

研修会では、新人看護師が患者から、暴力行為を受けた事例をもとにグループワークが行われました。

暴力に対する組織対応は、対応マニュアルの作成、職員研修の他、暴力が発生した際には、医療機関受診とカルテ作成、発生記録をきちんとすることが重要

で、警察OBの配置をしている病院も3割程度あることが紹介されました。

ハラスメントのない職場づくりとは

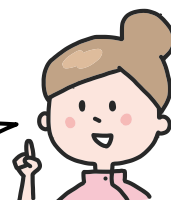
- ①コミュニケーションが活発なオープンな職場
- ②長時間労働のない職場
- ③失敗を認める職場

質疑応答では、「患者から触られた」という報告への対応についての質問に、「触るのはやめて下さい」と言い、ケアを中断してでも、その場から離れることが大切で、その後はその職員に対応させず、きちんと記録に残すことが大切」と、三木先生は明快に説明されました。



ハラスメント 職場環境チェックリスト

あなたの職場も
チェックしてみよう!!



1	朝夕の出退社のとき、挨拶をする人がほとんどいない。
2	トップや管理職は、自分の職場にはパワハラが存在しないと考えている。
3	人は厳しく指導することで育つという意識が強い職場だ。
4	今の職場には失敗やミスが許されない雰囲気がある。
5	業務上のノルマが厳しく求められ、目標が達成できなかった時のペナルティが大きい。
6	上司に対して、意見や反論が言えない雰囲気だ。
7	職場の誰かが困っていても、助け合う雰囲気ではない。
8	職場内での問題について、職場内で話し合っ解決しようとする雰囲気がない。
9	正社員やパート、派遣社員など、様々な立場の人が一緒に働いているが、上下関係が絶対的で、立場を意識した発言が散見される。
10	人の陰口や噂を耳にすることが多い。

シリーズ 人の一生を支える看護職

看護職の仕事は傷病者や妊産褥婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことですが、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉関連施設、企業、行政など活躍の場は広がり、看護職に対する期待も大きくなっています。そこで、県内の様々な場所で働く看護職を紹介します。

介護医療院を新設して



湖東病院
片岡 由里

私は20年前に当時の老人病院だった今の病院へ就職しました。病院の種類や仕事の違いなどよく判っておらず、家から近く通勤しやすいことと明るくきれいで雰囲気良かった事で決めました。

翌年に介護保険制度が施行され、介護療養型病院になりました。前年から取り組んだ身体拘束廃止をはじめ、寝たきり患者の肺炎予防の口腔ケアや尿路感染予防の取り組み、褥瘡ゼロを目指したケアなど、自分たちができることを「人生の最期まで苦痛なく穏やかに過ごしていただける」を目標に改善してきました。良い事と思いやってきましたが、自己満足

な部分もあったと反省し、認知症があってもしっかりと意思決定ができるように支援し、そのうえで行うことが大切であると感じています。高齢者の尊厳をしっかり守ったケアの提供をしていきたいと思います。

昨年4月に「長期療養のための医療」と「日常生活のケア」が行える介護医療院を新設して、当院でも昨年9月に60床を転換し、来年4月に残り169床が介護医療院に転換します。総師長として、介護医療院としてできることや地域包括ケアシステムの中でどのように地域に貢献していけるのか考え進めていきたいと思っています。

「限りなく老衰に近い自然死」を目指して



特別養護老人ホーム丸子の里
成岡 桂子

私は40歳を目前にして看護師資格を取得したので、看護師としてのキャリアは長くありませんが、地域・施設において看護職以外の相談員職や介護職、法人事務局等を経験した分、看護職の独自性や専門性について考える機会は多かったように思います。

私が働く特別養護老人ホームでは、医療的ケア重視ではなく「限りなく老衰に近い自然死」を理想として、その日に至るまでの日々のケアに取り組んでいます。高齢者が自らの生命力(≡回復力)の消耗を最小限に、自分の中に

ある全てを使い切り最期を迎える姿に、病院勤務の長かった看護師は一様に驚き、自分達の行うケアに自信を深めます。

少子多死・人口減少社会の現在、本人の望む暮らしと最期の時を共に創る場面に、看護職は大きな力を発揮するでしょう。またこれからは、解剖生理学を根拠にした1対1のケアをベースにしつつも、病院や施設の枠を超えて地域を俯瞰していくことが求められています。新たな時代を切り開く専門職として看護職に期待しています。

「これぞ在宅療養!」



静岡県看護協会
松井 順子

訪問看護ステーションも介護保険制度もない昭和60年、脳外科病棟で働いていた時、毎日朝早くから面会時間ぎりぎりまで高齢のご主人に付き添っていた奥さん。清拭もオムツ交換も私たちより上手。そんな奥さんが「この管(経管栄養カテーテル)さえなければ、家に連れて帰れるのに…」この一言で、白衣を脱いで訪問看護の領域へ。

その後、訪問看護ステーション制度ができ、本格的に在宅看護の道へ。ALSで人工呼吸器を装着している寝たきりの40歳代の男性を訪問。すると、顔が真っ赤で、熱があるのかと

体温測定しても、熱はなし。「えへへ…」と笑う本人と奥さん。「今日は、調子よかったのでビール入れちゃった!」と経管栄養ボトルからビールを注入。「え〜!!」と驚きもしたが、「これぞ、在宅療養!」と実感。それ以来、自宅で療養する方を支えたいと20数年。1日でも長く、調子が良い時・体調を整えることができるよう、自宅での暮らしを支えたいと思っている。私自身、病気もした。そんな私が仕事を続けてこられたのも、私を支えてくれた利用者さんとその家族。そんな方たちに感謝しながら、今日も仕事しています。

『サードレベルを受講しています』

静岡市立静岡病院 池谷 綾子

令和元年度の静岡県看護協会サードレベルは「多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する」ことを目的に、7月4日から開講となりました。講義やグループワークに加え、看護管理者のシャドウイングを行い経営の実際を学ぶ実

習、事業企画書の作成とプレゼンテーションにも臨みます。自施設に留まらず社会情勢を見据えた広い視野を持つ意味や必要性を考えています。受講生は30名です。あたたかい心と高い志をもった素敵な方々と、研修後半も充実した学びを深めていきたいと思います。



令和元年度 新人看護職員（多施設合同）研修

教育研修部 田代 美奈

新人看護職員研修は静岡県からの委託を受け、自施設では新人看護職員研修が完結できない病院等に就業した新人看護職員を対象に実施しています。6回開催され、今年度は15施設39名が参加しています。当初、研修生は緊張の面持ちでしたが、講義や演習、グループワークでの仲間作りを通し、少しずつ自信が感じられるようになりました。研修での学びを現場で反復することの大切さを共有し、2月の閉講式の頃には、さらに成長していることを楽しみにしています。



第8回 静岡県看護学会のお知らせ

- 開催日** 令和2年 1月18日(土)
- 開催場所** 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ
- テーマ** 「看護の未来を創造しよう!
～私の経験を意味づける～」
- 一般参加申込** 11/1(金)～
※事前申込が割安です。
- 詳細はホームページをご覧ください

教育研修部職員紹介



田中 悦子

入職5年目。
実習指導者、看護教員継続研修を主に担当しています。
受講生との触れ合いと、成長が楽しみで、やりがいを感じています。趣味はジム通いと似顔絵、陶芸、旅行です。

県下に広がる「看看連携の輪」

看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業

平成27年度（日本看護協会モデル事業）から始まった事業。平成28年度からは、静岡県看護協会事業として継続しています。令和元年度は7地区に助成金を交付し、地域の看看連携を支援しています。今回は4地区を紹介します。

あなたらしさを看守り隊



富士市

【富士市民の命を結ぶシート「むすびんシート」の作成と活用】

<病院10 看護学校2 行政2>

さくらパワーネット



河津町

【河津町内の看護職と多職種のネットワーク作りを目指し、住民と共に健康寿命の延伸】

<病院2 老健1 行政1>

焼津が看護でつながる会



焼津市

【連携強化による地域の看護・介護の向上、地域住民と顔の見える関係作り】

<病院5 行政1>

はままつオレンジけあネット



浜松中区
浜北区

【地域の認知症ケアの充実をテーマに看看ネットワークの構築を目指す】

<病院3 訪看2 居宅1 地域包括2 行政2>

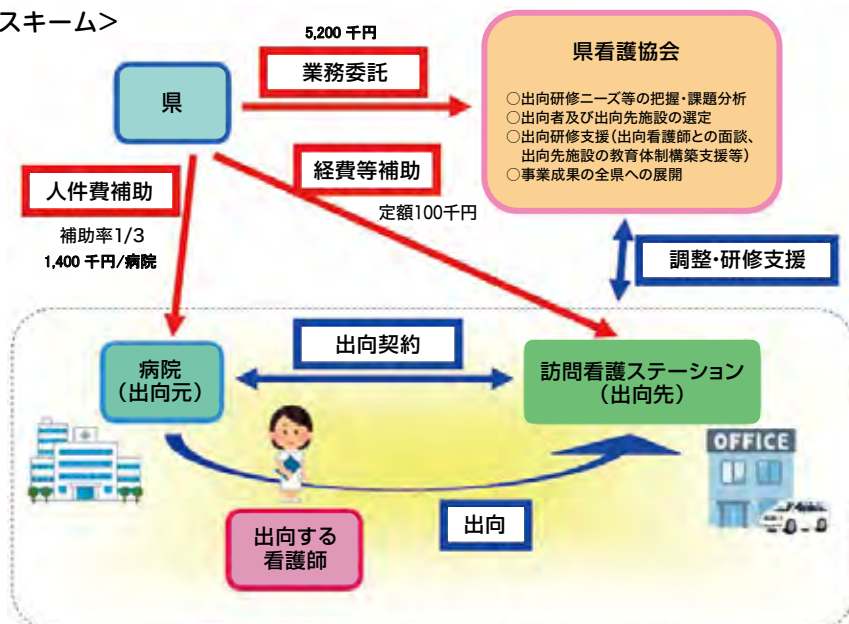
訪問看護出向研修支援事業がスタート!

病院患者の円滑な在宅復帰を促進する目的で病院看護師を訪問看護ステーション等に出向させる「訪問看護出向研修支援事業」が静岡県の委託事業としてスタートしました。

現在、4ヶ所の病院と訪問看護ステーションのマッチングが進んでいます。

この人事交流の仕組みを活用することで病院と訪問看護ステーション双方の課題解決、病院の退院支援機能強化、地域の看看連携の強化につながると考えています。

<事業スキーム>



お知らせ

※相談・研修は看護職であればどなたでも受けられます。

(1) 移動相談

県下14のハローワークに看護職の就業相談員が出向き、就業について支援します。

お近くのハローワークにお出かけください。

下記の日程で実施、ハローワーク浜北以外では求人施設が参加するミニ相談会も実施しています。

富士の会場は、富士市フィランセです。

開催時間:9:30~12:00 予約:不要

	下田	御殿場	三島	沼津	富士	清水	静岡	焼津	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江
10月	—	—	29日	15日	9日	15日	9日	29日	—	7日	—	9日	18日	—
11月	26日	26日	—	19日	13日	—	13日	—	26日	—	19日	13日	—	19日

(2) 10月以降の研修等予定 ※申込は常時受付中(電話・FAXで申し込みください)

名 称	会 場	実施日
セカンドキャリアセミナー	静岡県看護協会	10月17日(木)
	アクトシティ浜松	12月12日(木)
子育てママの生き生きカフェ	静岡中央子育て支援センター	11月20日(水)
再就業準備講習会	沼津市立病院	11月20日(水)・21日(木)・22日(金)
介護施設等再就業研修	聖隷研修センター	11月18日(月)・19日(火)・20日(水)

(3) 看護技術演習、県内3カ所(本所・東部・西部支所)で実施しています。

10月から吸引演習や手洗い研修もできます(詳細は『ナースセンターだよりプラス』で!)

(4) ナースのお仕事フェア

今年度も県内9ヶ所で開催します。会場が決定次第ホームページでお知らせします。

地域で長く働く工夫について紹介します。多くの方のご来場をお待ちしています。

第1回 子育てママの生き生きカフェ開催しました。

7月静岡中央子育て支援センターにて



お子様の体調不良で3名がキャンセルとなりましたが、子育て中の未就業看護職2名が参加しました。レカンフラワーでボタニカルアートに挑戦!

再就業情報提供や先輩看護師の体験談を聞き、子育てなどの情報交換をしました。

ナースセンターは、働くママを応援しています。あなたの身近な子育て中の看護職ママにもご紹介ください。

*** 悩みは誰かに話しましょう ***

悩みを抱えていませんか?

悩みは一人で抱え込まずに、誰かに話しましょう。ナースセンターには相談窓口があります。

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

悩み専用ダイヤル

054-202-1780 月~金曜日
9:00~16:00

新人専用ダイヤル

090-2183-8734 はなしてみよう 月~金曜日
9:00~16:00

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

(相談時間 9:00~16:00 本所のみ火~木は18:00まで)

本 所: TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所: TEL/FAX 055-920-2088

西部支所: TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日): TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日): TEL 080-2650-0237

保健師
職能委員会

令和元年度 保健師職能集会のお知らせ

日時 令和元年10月19日(土) 13:00～16:30
場所 静岡県看護協会 第一研修室
内容 講演1 「すぐ使える運動指導の実際」
講師 静岡県総合健康センター所長 健康運動指導士 木本愛郎先生
※運動のできる服装でお越しください。
講演2 「行動変容につながる栄養指導」
講師 JA静岡厚生連遠州病院 栄養科長 管理栄養士 安本美登里先生
対象 県内企業・行政等に働く保健師
申込方法 FAX又はホームページ
受講料 看護協会会員は無料 会員外は500円
問合せ先 総務部 TEL:054-202-1750
申込期限 令和元年10月4日(金) FAX:054-202-1751

看護協会総務部

ホームページリニューアルのお知らせ

9月下旬、リニューアルを予定しています。
今回のリニューアルでは、パソコンの他にスマホやタブレットに対応できるようにします。
これまで以上に、使いやすいサイトを目指し内容を充実していきます。

問合せ
総務部 TEL:054-202-1750

医療安全情報
2019年度 第3弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

患者がベッドから立ち上がる際などに、支えにしたオーバーテーブルが動き、転倒した事例が報告されています。

《事例》

患者がトイレに行くため、看護師はオーバーテーブルのロックを解除した。患者は、ベッドから立ち上がる際にオーバーテーブルに手をついた。オーバーテーブルが動き、患者はバランスを崩して転倒し、大腿骨頸部を骨折した。

事例のイメージ



オーバーテーブルを支えにした患者の動作

動作	件数
ベッドから立ち上がろうとした	6
ふらついてバランスを崩した	5
ベッドに戻ろうとした	2
靴を履こうとした	1
カーテンを開けようとした	1
身体の向きを変えた後に両手でつかまった	1
支えにして歩こうとした	1

ベッド周囲にはオーバーテーブルに限らず動くものがあるため、
ベッド周囲のリスク評価を実施してください。

参考 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報No.132

クイズに答えると、抽選で7名様にクオカードが当たる!



問題 10月20日は何の日でしょうか?

答え 県民〇〇の日



応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。正解者の中から、抽選で7名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。当選者は「Vol.4」に掲載させていただきます。(ペンネーム可)

右記内容をご記入のうえ、応募してください。

●答え ●氏名 ●所属 ●電話番号 ●〒 ●住所 ●看護しずおか感想 ●看護協会へのご意見

お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しずおかに掲載させていただく場合があります。

締め切り

10月25日(金)消印有効

葉書の場合の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ係
※10/1～はがき63円に値上がりしますので応募の際はご注意ください。

メールの場合の宛先

メールアドレス
kango@shizuoka-na.jp

当選者

「Vol.2」のクイズの答え：なおとら

ペンネームなおちゃん様・ペンネームYuuko様・ペンネームファイブ&ミュー
ペンネームマルタ島様・尾崎理恵様・村越澄香様・森田美江様



公益社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階
TEL.054-202-1750 / FAX.054-202-1751 編集責任者:渡邊昌子

令和元年9月25日発行